# (様式第4-1号)

|  |
| --- |
| 事業に対する理解度 |
| 本事業は、施工業者が有する高度で専門的なノウハウや工法を前提とした施工計画を策定し、必要となる補足設計と施工を一体的に進めることが事業課題となっている。  本事業目的を踏まえ、応募者が考える事業全体の条件・課題等、実施手順及び実施体制について記述すること。  　①条件・課題等：業務目的、現地条件、与条件、提案内容の適用上の課題、不確定要素等  　②実施手順及び実施体制：業務実施手順を示す実施フロー及び実施体制  注）各提案項目との整合を図ること。  A3×2枚以内にまとめること。 |
|  |

# (様式第4-2号)

|  |
| --- |
| 特殊な上部構造の出来形管理及び品質管理に関する提案能力 |
| 当歩道橋は、低桁高、曲線桁という特徴を有しており、ねじれ変形や架設時の変位等が生じやすい形状で計画されている。  このため、製作、施工時の出来形管理や品質管理に有効な構造に関する設計時の検討手法、並びにその実現性（実施事例・類似事例を含む）について記述すること。  なお、提案された検討手法に基づき設計業務を行うものの、構造の採否は本市との協議に基づき決定する。  注）各提案項目との整合を図ること。  A3×2枚以内にまとめること。 |
|  |

# (様式第4-3号)

|  |
| --- |
| 維持管理に備えた配慮に関する提案能力 |
| 当歩道橋は、ケーブルによる吊構造特有の部材が多数存在し、かつ低桁高で箱桁内部が狭隘となり桁下空間に余裕がない等、点検・補修がしにくい構造が想定される。  このため、ライフサイクルコスト（イニシャルコスト、ランニングコスト）の縮減や点検・補修に配慮した構造に関する設計時の検討手法、並びにその実現性（実施事例・類似事例を含む）について記述すること。  なお、提案された検討手法に基づき設計業務を行うものの、構造の採否は本市との協議に基づき決定する。  注）各提案項目との整合を図ること。  A3×2枚以内にまとめること。 |
|  |

# (様式第4-4号)

|  |
| --- |
| 第三者への影響軽減に関する提案能力 |
| 当歩道橋は、重交通の国道2号及びフラワーロードを跨ぐ横断歩道橋であるため、既設橋の撤去及び上部工架設時の交通規制期間、規制範囲を最小に抑えることが重要となるため、税関前交差点の通行止めや車線規制の影響低減に資する施工計画の検討手法、並びにその実現性（実施事例・類似事例を含む）について提案を求める。  重交通路線であるため、規制時間内で確実な閉合完了などスケジュールの厳密な管理が求められるため、地組、運搬、架設時の各段階における安全性・確実性確保に資する架設計画の検討手法、並びにその実現性（実施事例・類似事例を含む）について提案を求める。  市役所2号館再整備など三宮周辺地区の再整備や、新港突堤西地区ウォーターフロントエリアの大規模アリーナ開業などが予定されており、今後、税関線を利用する歩行者・自転車利用が増大することが見込まれる。そのような状況下で、両地区の結節点である国道2号に架かる税関前交差点での施工にあたり、歩行者・自転車利用者の安全性や経路確保のための施工計画の検討手法、並びにその実現性（実施事例・類似事例を含む）について提案を求める。  なお、提案された検討手法に基づき設計業務を行うものの、施工計画の採否は本市との協議に基づき決定する。  注）各提案項目との整合を図ること。  A3×2枚以内にまとめること。 |
|  |

# (様式第4-5号)

|  |
| --- |
| 地域への配慮に関する提案 |
| 地域住民や道路・歩道利用者への工事影響に関する周知方法や地域貢献に関する提案を求める。  ①地域住民や道路・歩道利用者への工事影響に関する周知方法の提案  ②地域貢献（地場材の使用や地元企業への下請け比率等）に関する提案  注）各提案項目との整合を図ること。  A3×1枚以内にまとめること。 |